

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

おかげさまで創業70周年

祖父母が昭和21年に八島衣料店を開店してから、おかげさまで創業70周年を迎える事が出来ました。

今日までの時間の中で、色々なご縁でお客様に支えられ歩んで参りました。これもひとえに皆様方の一方ならぬご支援・お引き立ての賜物と心より感謝し、これからも着物の伝統や文化を継承しながら、更にお客様満足度の向上に情熱をもって務めて参りたいと思っております。

これからの和とくポイント

やしま社長の自己紹介

私は、祖母が開業した呉服屋の3代目として着物に包まれた環境で育ちました。3人きょうだいの末っ子で上は姉2人で、家族からは後継者が生まれたという事で特に大事に最良に育てられていたそうです。

生まれて1年後には、商店街から大型ショッピングセンターの隣に移転いたしました。当時は店頭販売が中心で、洋服や農作業の服などの商品を扱っており、毎日のように来店があったのを記憶しております。

また、お客様からは「後取りのあんちゃんやね！」照れくさくもあり、少し嫌でもありました。幼少時代は遊ぶ事が何よりも朝から夕暮れまで友達と一緒にいるのが楽しくて、勉強は二の次！遊ぶこと以外は長続きしない性格で唯一野球だけは高校卒業まで一生懸命頑張りました。

高校卒業後、大阪へ5年間の呉服修行に行く事になりました。このような生活を送っておいりましたので、着物に対する興味や知識など全くない状態でした。急速、就業に行く前日に父親から着物のたたみ方を教えてもらい、親心を感じながら就業先に向かった記憶があります。

大阪の修行先では知り合いもなく、着物の事もわからない、甘やかされて育った私は、環境に馴染めず、毎日帰ることだけを考えて、いつでも帰れるように準備をしている生活でした。一人で食べる食事は、どんなに好物を並べてもおいしく感じません、母親の料理が上手だったからだけではなく、家族でいっしょに食べる時間がすごく楽しかった事に気づかされました。「帰っても誰も喜んでくれない」そんな時に、小さい頃一番可愛がってくれた祖母から手紙が届きました。その手紙を見て、もう一度修行先で一生懸命勉強しようと思心新たにしました。

修業先では、与えてもらうものではなく、自らが率先して習得していくものだという事を学びました。先輩社員の接客をみて知識を深め、一歩踏み出して実践をする事。とにかく着物の素晴らしさや商品知識はもちろん、ちょっとした相談などがあれば的確にアドバイスできるように心がけました。今思えば、会社にもお客様にも恵まれ、楽しい修業生活を送ることが出来ました。

5年間の修行を終えて、やしま呉服店を継いで最初に驚いたのは、お客様の着物に対する関心の高さです。行事ごとに着物は欠かせないといった風習が根強く残っているという印象があります。お客様が、その時の様子を嬉しそうにお話しされていると、こちらも一緒に嬉しくなる事があります。着物には不思議な魅力がたくさん詰まっていて、家族はもちろんの事、周りの人にも笑顔を与えてくれるものだと思います。これからも着物を通じてたくさんの笑顔に出逢えるよう、務めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



今日もきものの気分

やしまからのお知らせ

今月の一言

背中が光る
そんなウソのない
人生を歩みたい

きくちいまコラム



2月の催事・イベント

- ◎おかげさまで70周年記念 大感謝祭
とき：11日(祝)～14(日)
- ◎ポーセラーツ教室
とき：18日(木)
- ◎月1キャンペーン：お香/風呂敷
期間：19(金)～28(日)

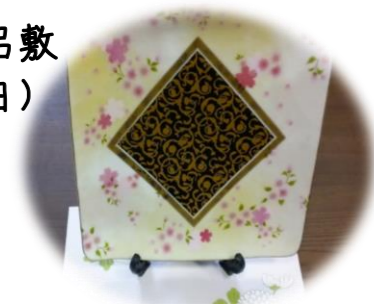
さくらきもの学院

- ◎たくみの会
とき：2月7日(日)
詳細については後日ご案内致します。

※各詳細のお問い合わせはお店まで



帯揚げの処理が
上手な人は...
こんなおしやれも
早く見ます!



ありがとう